

株主の皆様へ

平成20年度中間報告書

(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

三井不動産株式会社



日本一より、大切なことがあった。

昭和43年。霞が関ビルディングは、日本初の超高層ビルとして誕生した。当時の日本はイザナギ景気の真っ只中。だれもが上を目指し、がむしゃらに生きていた。そんな中で生まれた地上147m、36階建てのビルは、まさに伸びゆく時代の象徴だった。

「日本一の高さ」ばかりが取り沙汰された霞が関ビルではあるが、初めから超高層化を目的に建設されたわけではないことは、あまり知られていない。広大な敷地めいっばいに、ビルを建てることもできた。しかし、都市の過密や交通の混乱を考えたとき、敷地の70%を緑があふれるオープンスペースとして開放し、その分ビルを高層化するという計画にふみきったのであった。それは、「大都市における人間性の回復」という。当時の三井不動産の譲れない信念だった。

あれから40年。成長から成熟の時代に移った日本では、人々の都市開発への評価も、人間重視へと変わった。ただ、上を目指すだけではいけない。三井不動産は、くらしを足もとからしっかりと見据えて、人や地域と共に歩んでいける街づくりをあの頃から進めてきた。ずっと愛される街であるために。40年前の三井不動産の信念は、今も変わらない。

霞が関ビルディング40周年。



昭和43年当時



都市に豊かさや潤いを

三井不動産



三井不動産グループの管理する施設から出た古紙を一部原料としています。



都市に豊かさと潤いを 私たち三井不動産グループは 常にベストを提供します

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
当上半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の報告書
をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当上半期の日本経済は、サブプライムローン問題に端を発した
国際金融資本市場の信用収縮を背景とする世界経済の景気減速や、
原材料価格高騰などの影響を受け、企業収益には減少傾向が見ら
れ、設備投資は弱含みの動きとなりました。また、米国大手金融機
関の相次ぐ破綻による国際金融資本市場の混乱を受け、日本経済
への下押し圧力が強まるなど、先行きの不透明感が高まりました。

不動産業界においては、賃貸オフィスマーケットについては、
空室率に一部上昇傾向が見られるものの、賃料水準は堅調に推移
し、住宅分譲マーケットについては、景気後退懸念による顧客の
購買意欲の減退を受け、契約率が低下するなど、きわめて厳しい
状況が続きました。また、このような市況に加え、中堅・中小規
模の不動産・建設会社の破綻が続くとともに、不動産投資市場に
ついては厳しい局面を迎えるなど、今後の動向に一層注視してい
く必要があります。

このような事業環境のもと、当上半期につきましては、「グラン
トウキョウノースタワー」や「赤坂Bizタワー」が通期稼働し、「三
井アウトレットパーク入間」をはじめとする魅力あふれる商業施
設を次々と新規オープンさせるとともに、三井不動産レジデンシ
ャル株式会社において、多様化する顧客ニーズにきめ細かく応え
るため、新マンションシリーズ「パークリュクス」、「パークシー
ズンズ」をスタートさせるなど、グループ総体としての企業価値

の最大化を目指して事業を推進してまいりました結果、連結売上
高は6,145億円、連結営業利益は709億円となりました。

今後の当社グループを取り巻く事業環境につきましては、米国
をはじめとする世界経済の景気後退や株式・為替市場の動向など
から、日本経済の景気下振れリスクが高まっており、予断を許さ
ない状況にあります。

当社グループにおいては、こうした厳しい事業環境のもと、従
来以上にリスクへの感度を強め、変化に対して柔軟に素早く対応
しながら、培ってきたノウハウを活かし、「新チャレンジ・プラン
2016」で掲げた「顧客志向の経営」、「ビジネスモデルの革新」、「グ
ループ経営の進化」という3つの戦略を推進し、コアビジネスであ
る「保有事業」、「開発事業」、「マネジメント事業」のバランスの
とれた成長を目指してまいります。

さらに、内部管理態勢の強化などコーポレートガバナンスの一
層の充実に努めるとともに、社会・経済の発展と環境の保全に貢
献することで企業の社会的責任を十分に果たしながら、持続的な
成長の実現に向け、鋭意邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ変わらぬご理解とご支
援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長 岩沙弘道

目次

株主の皆様へ	1~2
当社グループの展開	3~9
財務ハイライト(連結)	10
財務諸表(連結)	11~12
株式の状況	13



Housing

住宅事業

「住まいとくらしのベストパートナー」
～信頼と感動のNo.1ブランドを目指して～

すまいとくらしの未来へ
三井不動産レジデンシャル

製販一体のバリューチェーンを活かし、多様化するお客さまのニーズに
きめ細かくお応えするすまいとくらしをお届けいたします。



パークシティ浜田山
(平成22年2月全体竣工予定) E棟完成予想図



パークタワーグランスカイ
(平成22年6月竣工予定) 完成予想図



パークコート麻布十番 ザタワー
(平成22年5月竣工予定) 完成予想図



ザ・オーシャンフロント@セントーサ
(平成21年夏竣工予定/シンガポール) [TID(株)] 完成予想図



ファインコート西東京 むさしのスタイル
(平成20年9月竣工) 完成予想図



三井ホーム(株)
2×4住宅のトップメーカーとして注文住宅、賃貸住宅、建売請負等の事業により、高性能・高品質の住まいづくりに取り組んでおります。



多様なニーズに幅広くお応えするため、
新たに二つの2ブランドを展開することいたしました。



park LUXE 都心型小世帯向けマンション
パークリクス



パークリクス本郷
(平成20年7月竣工) 完成予想図



イメージ

充実のセキュリティやWebコンシェルジュなどの様々なソフトサービスをご用意した、都心における新たな住まい方を提案する小世帯向けマンションシリーズ。

“It's my Luxury” をコンセプトに都会での暮らしに合ったスマートな空間。基本性能に裏打ちされた「住む人にとって気持ちのよい空間」をご提供しています。



park SEASONS リゾートマンション
パークシーズンズ



パークシーズンズ箱根強羅
(平成22年1月竣工予定) 完成予想図



イメージ

リゾートにもっとも求められること、それは日常生活からの解放。つまり日々の暮らしでは得られない歓びに満ちた「時」へと誘うことではないでしょうか。

“The TIMESTYLING” 「時を仕立てる。」という新しい“すまい”づくりの考え方をコンセプトに、これからの日本のリゾート・レジデンスを提案します。

Office

オフィスビル事業

「ワーカーズファースト」
～働く人にいちばんの場所であること～

働く人にとって、一番効率的で快適なオフィス環境を目指し、開発から運営・管理までトータルなオフィスビル事業に取り組んでいます。



青山OM-SQUARE
(平成20年7月竣工)



(仮称) 丸の内一丁目計画
(平成22年春竣工予定) 完成予想図



室町東地区開発計画
(平成25年全体竣工予定) 完成予想図



(仮称) 700 6th ストリートプロジェクト
(平成21年2月竣工予定/ワシントンD.C.) [三井不動産アメリカ(株)] 完成予想図



三井不動産ビルマネジメント(株)
ファースト・ファシリティーズ(株)
ファースト・ファシリティーズ・ウエスト(株)
オフィスの運営・管理などにおける豊富なノウハウを活かし、お客様に安全で快適な環境を提供しております。

Shopping Center

商業施設事業

「ライフソリューションコミュニティ」
～ひとりひとりの^{いろど}彩られた時間のために～

私たちは、来場されるお客さまを想い、新しい時代の夢にあふれた感動体験を創り続け、街とともに成長していく商業空間を実現してまいります。

MITSUI OUTLET PARK 三井アウトレットパーク

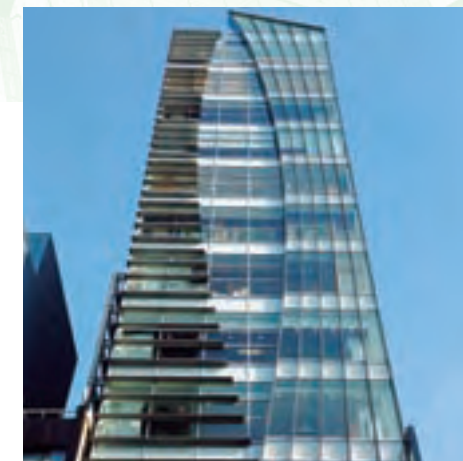


三井アウトレットパーク入間 (平成20年4月オープン)



三井アウトレットパーク仙台港 (平成20年9月オープン)

URBAN SC 都心型商業施設



GINZA gCUBE (平成20年9月オープン)

REGIONAL SC 広域型商業施設



ららぽーと新三郷 (平成21年9月オープン予定) 完成予想図

LIFE STYLE PARK 近郊型商業施設



ララガーデン長町 (平成21年秋オープン予定) 完成予想図



ららぽーとマネジメント(株)
日本最大級の規模を誇る「ららぽーとTOKYO-BAY」をはじめとする全国のショッピングセンターの運営実績を活かし、魅力ある商業空間を提供しております。

アコモデーション事業 Accommodations

「Best moments in life」
～人生にかけがえのないひとときを～

賃貸住宅からホテルまで、お客様の視点に立ってさまざまなタイプの居住・生活空間を付加価値の高いサービスとともに提供いたします。



パークアクシス元浅草ステージ
(平成20年4月竣工)



芝浦アイランド ブルームタワー
(平成20年9月竣工)

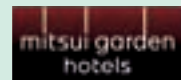


(仮称) 三井ガーデンホテル仙台
(平成21年夏オープン予定) 完成予想図



三井不動産
住宅リース(株)

「三井の賃貸」ブランドのもと、首都圏を中心に3.5万戸を超える賃貸住宅を運営し、お客様に快適な生活空間を提供しております。



(株)三井不動産
ホテルマネジメント

全国の中核都市13か所で三井ガーデンホテルズを展開し、ロケーション特性を考慮したホテルづくりを基本としつつ、高品質なサービスとホスピタリティに努めております。

不動産ソリューションサービス事業 Solution & Services

「不動産ソリューション・パートナー」
～すべてのお客さまにベストソリューションを～

豊富な経験と国内外のネットワークをもとに、当社グループの総合的なマネジメント力を活かし、お客さまのパートナーとして、ベストソリューションを提供いたします。



鹿島田駅西部地区第一種市街地
再開発事業
(平成24年度全体竣工予定) 完成予想図



神宮前一丁目民活再生プロジェクト
(平成21年4月竣工予定) 完成予想図



12代目川崎ビルビル山下リオ
三井不動産販売(株)
仲介・コンサルティング事業(リハウス、リアルプラン、リアセット)、総合駐車場事業(リパーク)を柱とする不動産流通業界のリーディングカンパニーです。

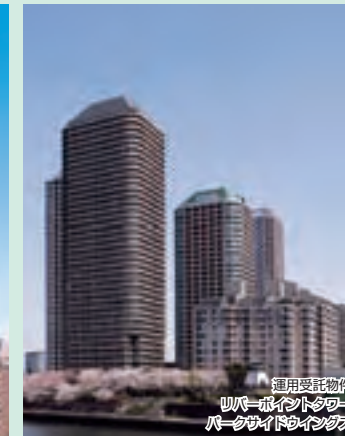
投資運用会社



アセットマネジメント受託物件
東京ミッドタウン
三井不動産投資顧問(株)



運用受託物件
NBFプラザタワー
日本ビルファンドマネジメント(株)



運用受託物件
10代目ビルビルビル
(株)三井不動産アコモデーションファンドマネジメント



運用受託物件
三井アウトレットパーク久間
三井不動産フロンティアリートマネジメント(株)

三井不動産グループ Group

「暮らしのトータル・ソリューション」
～暮らしの様々なシーンに豊さと潤いを～

三井不動産グループは、「共生・共存」、「多様な価値観の連繋」という「&」マークの理念のもと、暮らしのさまざまなシーンに「価値ある豊かさと潤い」をお届けしています。



ハレクラニ(株)

ホテル運営



三井不動産リゾート(株)

リゾート施設の所有・賃貸・経営



第一園芸(株)

花卉の小売、ホテル等の花卉装飾



フォレストカントリークラブ

(株)三井の森

ゴルフ場の運営・別荘地の分譲管理



(株)キャニー

飲食店等の経営・受託



(株)ユニリビング

ホームセンターの経営

主なグループ会社〈関係会社183社の中から抜粋〉

会社名	事業内容
三井不動産レジデンシャル(株)	住宅等の開発・分譲、販売受託
三井不動産販売(株)	不動産の仲介・コンサルティング、駐車場の賃貸
三井ホーム(株)	2×4住宅の建築・販売
三井不動産住宅サービス(株)	マンションの管理・保守・保安・清掃
三井不動産住宅サービス関西(株)	マンションの管理・保守・保安・清掃
ファースト・ファシリティーズ(株)	ビル等の建物の管理(清掃・設備管理・警備等)
ファースト・ファシリティーズ・ウエスト(株)	ビル等の建物の管理(清掃・設備管理・警備等)
三井不動産ビルマネジメント(株)	ビル等の運営管理(テナント契約管理・建物管理等)
ららばーとマネジメント(株)	ショッピングセンターの運営管理
セレスティンホテル(株)	ホテル運営
(株)三井不動産ホテルマネジメント	ホテル運営
三井不動産住宅リース(株)	賃貸マンション等の運営
三井不動産リゾート(株)	リゾート施設の所有・賃貸・経営

会社名	事業内容
日本みどり開発(株)	ゴルフ場の運営(大浅間ゴルフクラブ)
(株)三井の森	ゴルフ場の運営・別荘地の分譲管理
臼津開発(株)	ゴルフ場の運営(臼杵カントリークラブ)
(株)益子カントリー倶楽部	ゴルフ場の運営(益子カントリー倶楽部)
成田スポーツ開発(株)	ゴルフ場の運営(成田フェアフィールドゴルフクラブ)
三井不動産投資顧問(株)	不動産投資に関するコンサルティング・アセットマネジメント業務
日本ビルファンドマネジメント(株)	日本ビルファンド投資法人の資産運用
(株)三井不動産アコモデーションファンドマネジメント	日本アコモデーションファンド投資法人の資産運用
三井不動産フロンティアリートマネジメント(株)	フロンティア不動産投資法人の資産運用
第一園芸(株)	花卉の小売、ホテル等の花卉装飾
(株)キャニー	飲食店等の経営・受託
(株)ユニリビング	ホームセンターの経営
三井不動産アメリカ(株)	米国における不動産事業

連結売上高



連結総資産



連結当期純利益



※詳細につきましては、当社ホームページ<http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/ir/library/report/index.html>に掲載しておりますので参照ください。
※当期から金融商品取引法に基づき四半期開示制度が導入されております。これに伴い、前年と会計基準が異なっておりますが、数値比較のためご参考として前年の財務情報を掲載しております。

連結営業利益



連結有利子負債



設備投資・減価償却の状況 (連結)

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

科目	当第2四半期累計期末	当期(予想)
設備投資	81,610	160,000
減価償却	23,371	47,000

第2四半期会計期間末連結貸借対照表（平成20年9月30日現在）

（百万円）

科目	当第2四半期	前 期	科目	当第2四半期	前 期
資産の部			負債の部		
流動資産	1,119,444	1,016,128	流動負債	847,587	717,004
現金・預金	62,788	50,722	支払手形・買掛金	62,873	110,942
受取手形・売掛金	24,957	34,593	短期借入金	250,468	180,173
有価証券	110	13,094	その他の流動負債	534,244	425,888
販売用不動産等	750,798	660,486	固定負債	1,924,589	1,925,481
繰延税金資産	61,668	60,059	社債	215,000	235,000
その他の流動資産	219,120	197,170	長期借入金	1,069,545	1,052,247
固定資産	2,644,867	2,618,361	預り敷金・保証金	364,555	356,612
有形固定資産	1,973,785	1,931,592	繰延税金負債	24,215	30,310
建物・構築物	513,903	519,671	再評価に係る繰延税金負債	186,189	186,189
土地	1,407,403	1,363,479	その他の固定負債	65,083	65,122
その他の有形固定資産	52,478	48,442	負債計	2,772,176	2,642,486
無形固定資産	30,775	30,218	純資産の部		
投資その他の資産	640,306	656,550	株主資本	713,972	697,039
投資有価証券	379,737	390,418	資本金	174,296	174,296
差入敷金・保証金	189,890	196,788	資本剰余金	248,354	248,328
繰延税金資産	15,190	15,022	利益剰余金	296,050	278,748
再評価に係る繰延税金資産	8,308	8,308	自己株式	△4,727	△4,333
その他の投資その他の資産	47,179	46,012	評価・換算差額等	259,335	274,269
繰延資産	—	—	その他有価証券評価差額金	23,289	32,575
資産合計	3,764,311	3,634,489	繰延ヘッジ損益	△94	△106
			土地再評価差額金	257,514	257,728
			為替換算調整勘定	△21,374	△15,927
			新株予約権	150	86
			少数株主持分	18,676	20,607
			純資産計	992,134	992,003
			負債・純資産合計	3,764,311	3,634,489

第2四半期累計期間連結損益計算書（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）（百万円）

科目	当第2四半期累計期間	前年中間期（ご参考）	
経常損益	営業収益	614,532	594,088
	営業損益		
	営業費用	543,582	530,361
	営業利益	70,950	63,726
	営業外損益		
	営業外収益	7,745	7,168
	営業外費用	18,884	13,561
	経常利益	59,811	57,334
特別損益	特別利益	—	12,870
	特別損失	6,773	6,344
税金等調整前当期純利益	53,038	63,860	
法人税等	22,085	28,086	
少数株主損益	△1,116	△1,068	
純利益	32,068	36,842	

第2四半期累計期間連結キャッシュ・フロー計算書（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）（百万円）

科目	当第2四半期累計期間	前年中間期（ご参考）
営業活動によるキャッシュ・フロー	△224,556	△110,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,807	△76,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	296,396	163,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	13
現金及び現金同等物の増減額	△924	△22,701
現金及び現金同等物の期首残高	63,495	81,816
現金及び現金同等物の期末残高	62,571	59,115

事業種別セグメント情報（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）

（百万円）

	Ⅰ. 売上高及び営業損益					Ⅱ. 資産、減価償却費及び資本的支出			Ⅲ. 予想 （平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）	
	(1)外部顧客 に対する 売上高	(2)セグメント間の 内部売上高 又は振替高	計	営業費用	営業利益	資産	減価償却費	資本的支出	売上高(注)	営業利益
賃貸	263,384	4,255	267,639	215,691	51,948	2,306,363	16,919	73,014	535,000	97,000
分譲	124,100	—	124,100	113,642	10,458	911,722	583	1,357	452,000	68,000
完成工事	69,122	2,303	71,425	75,851	△4,426	53,281	1,218	1,204	187,000	3,000
仲介・販売受託・ コンサルティング	40,115	1,463	41,578	29,761	11,817	51,797	466	656	79,000	21,000
管理受託	49,340	16,770	66,110	58,142	7,968	71,486	604	703	107,000	16,000
住宅部材・ 商品等販売	35,707	16,160	51,867	51,122	745	41,128	449	346	73,000	1,000
施設営業	27,146	242	27,388	27,195	192	94,135	1,583	1,799	57,000	1,000
その他	5,615	5,314	10,930	9,061	1,868	22,082	1,074	1,006	10,000	3,000
計	614,532	46,509	661,042	580,468	80,573	3,551,997	22,900	80,088	1,500,000	210,000
消去又は全社	—	(46,509)	(46,509)	(36,885)	(9,623)	212,313	471	1,522	—	(20,000)
連結	614,532	—	614,532	543,582	70,950	3,764,311	23,371	81,610	1,500,000	190,000

(注)外部顧客に対する売上高を示しております。

※詳細につきましては、当社ホームページ<http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/ir/library/report/index.html>に掲載しておりますので参照ください。

※当期から金融商品取引法に基づき四半期開示制度が導入されております。これに伴い、前年と会計基準が異なっておりますが、数値比較のためご参考として前年の財務情報を掲載しております。

●株式の状況 (平成20年9月30日現在)

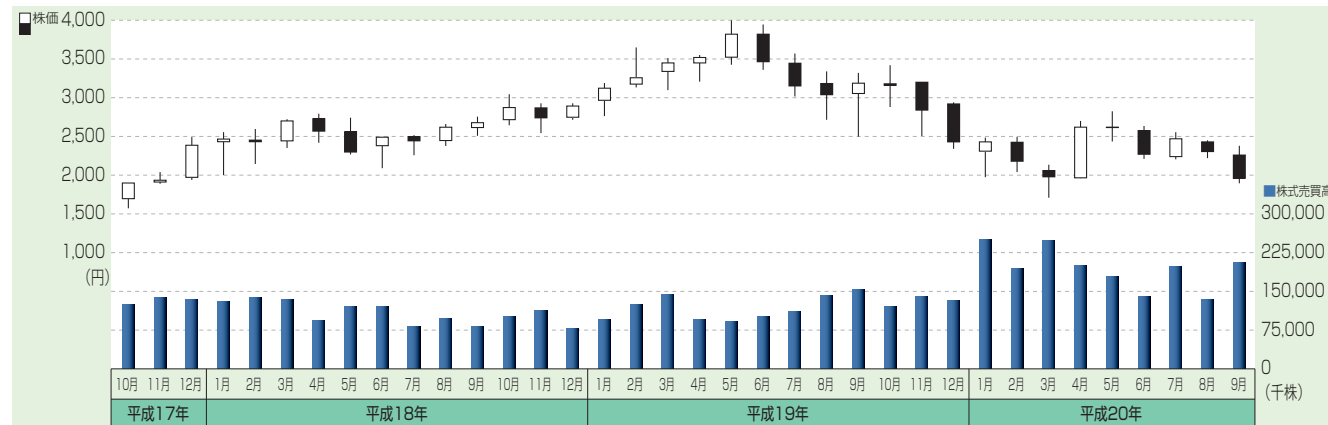
●株式の状況

発行可能株式総数	3,290,000,000株
発行済株式の総数	881,424,727株
株主数	37,231名

●大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	58,200	6.60
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	44,121	5.01
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	27,088	3.07
4. ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	22,710	2.58
5. 中央三井信託銀行株式会社	21,965	2.49
6. 株式会社三井住友銀行	18,546	2.10
7. ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	13,556	1.54
8. 鹿島建設株式会社	13,362	1.52
9. チェースマンハッタンバンクジーティーエスクライアツアカウントエスクロウ	13,205	1.50
10. 三井住友海上火災保険株式会社	12,727	1.44

●株価(高値・安値)および株式売買高

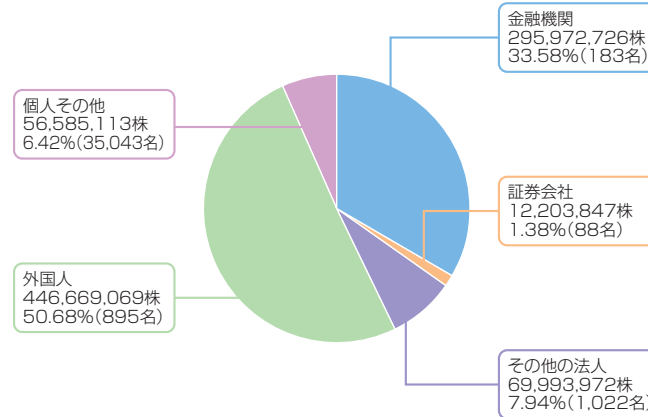


●平成20年度 当社配当金 (円)

科目	中間配当金	期末配当金(予想)
一株当たりの配当金	11	11

※当社は、連結業績に連動した配当を実施する方針としており、配当性向につきましては、当面連結当期純利益の20%程度を目途としております。

●所有者別株式分布状況



会社概要 (平成20年10月1日現在)

商号	三井不動産株式会社 Mitsui Fudosan Co., Ltd.	設立	昭和16年7月15日
本社	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 TEL. (03) 3246-3131 (大代表)	資本金	174,296,119千円
支社	関西	従業員数	1,131名 (平成20年9月30日現在)
支店	北海道 東北 千葉 横浜 中部 中国 九州	ホームページアドレス	http://www.mitsuifudosan.co.jp/

●取締役・監査役

代表取締役社長	岩沙 弘道	専務取締役	松本 光弘	常任監査役	永田 和一
代表取締役副社長	大室 康一 曾田 立夫	生江 隆之 影山 美樹	監査役	磯辺 真幸 岡田 明重 西田 敬宇 長谷川 俊明	
		取締役	青木 利晴 早川 吉春		

●執行役員

社長執行役員	岩沙 弘道	常務執行役員	竹井 英久	執行役員	上山 輝昭
副社長執行役員	大室 康一 曾田 立夫	齋藤 敬義	飯沼 喜章	中井 省吾	飯野 健司
専務執行役員	松本 光弘 生江 隆之 影山 美樹	藏本 誠三	齋藤 一志	市川 俊英	北原 義一

●グループ執行役員

グループ上席執行役員	佐藤 実 前田 昌男
グループ執行役員	佐々木 繁夫 池田 孝 鈴木 健 浅井 裕史 有田 洋一 安藤 正

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月	同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
公告方法	当社ホームページ http://www.mitsuifudosan.co.jp/に掲載いたします。ただし、やむを得ない事情により電子公告をすることができない場合は、東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。	同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京・大阪各証券取引所	同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
証券コード	8801		

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。
 ■フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内) ■ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式 (1,000株未満) をお持ちの場合、以下の制度をご利用いただけます。
 1) 単元未満株式を当社に売却する (買取制度)
 2) 単元株式 (1,000株) にするため、不足する株数の株式を当社より購入する (買増制度)
 お手続きの詳しい内容につきましては、窓口となっております上記事務取扱所までお問い合わせいただきますようお願いいたします。
 なお、株券保管振替制度をご利用されている場合の単元未満株式買取、買増請求は、上記取次所では直接お受けできませんので、ご預託先の証券会社等へお申し出ください。

株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを変更させていただきます。
 1. 単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日 (木曜日) から平成21年1月4日 (日曜日) (実質平成20年12月30日 (火曜日)) までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日 (月曜日) とさせていただきます (買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日 (火曜日) までに値が付かない場合は返却させていただきます。)。また、平成21年1月5日 (月曜日) から平成21年1月25日 (日曜日) までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。
 2. 単元未満株式の買増請求につきましては、平成20年12月12日 (金曜日) から平成21年1月25日 (日曜日) までの間、受付を停止します。なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しまして、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求・買増請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。